

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

## 資料室



HOME | 資料室 | 労働組合 | 教育活動 | オルグ能力開発訓練 4

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

組織活動

組織運営と法律

労働安全衛生

経営対策活動

教育・宣伝活動

労働時間をめぐる諸問題

教育活動

選挙活動

組合組織（公務員）

教育カリキュラム

[🔍 キーワード検索はこちら](#)

### オルグ能力開発訓練 4

## ロールプレイング（役割演技法）

それでは、今までの方法を総合して、それぞれ役割に応じた演技をしてもらいます。

### 『模擬オルグ』

○四人一組（二名は執行部、もう二名は無関心一般組合員）

◎ 執行部（2名）～無関心組合員を説得する役。

● 無関心組合員（2名）～オルグされる方ですが、簡単に説得されないで、はね返してください。

それではテーマを言います。

<テーマ（例）>

▼運動会をするので、実行委員になってほしい。

▼キャンプ集会に参加してほしい。

それでは説得のための戦術をねってください。

※ラセン質問で人格をさぐる。

===コメント===

説得を聞いていると、大体、4つのパターンに分けられます。

説得四つのパターン

1. おどし説得——なんだ！先輩の言うこと聞けんのか！！
2. 誘惑説得——きれいなギャルがくるぞ！それと一緒に！ 役得だぞ！！
3. 論理説得——～だから～である。したがって、参加しなければならない。
4. 感情説得——たのむ！この通りだ。俺の顔を立ててくれ！

—— 以上の四つのパターンがあるが、共通の欠点がある。それは、「たのまれたから」という受け身の姿勢で、自主的に決めたのではない。そこで、自ら進んで行動しようという心理へ持っていくために「心理説得」を行う。

心理説得

1. 良い聞き役になる（トコトン聞く）
2. 間接的アプローチ

「Yes Yes」と言えるような雑談、質問を繰り返す。

※人間は4～5回、YESと言ったらNOと言えなくなる。

人間は心理学的には、「関係的存在」である。どういうことかと言えば、知らない人どうしが、ある機会を通じて知り合う。その知り合った者どうしの関係はいろいろある。これを「関係的存在」といいます。

関係的存在

1. 内在的——同情心をおこす程度（気持ちだけ、無責任）
2. 内接的——思いやり（その人の立場に立つ）
3. 接在的——自分の痛みとして捉える（一体感）
4. 外接的——評論家（第三者的） ※リーダーとしては、「内在的」
5. 外在的——無関心

「接在的」な立場が必要。このような友人、親友を持つべきです。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

**Worker's Library 会員登録**  
お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

[▶ サイトマップ](#) [▶ このサイトについて](#) [▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

[▶ ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

**Worker's Library** 静岡で働く人のための資料閲覧サイト  
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.